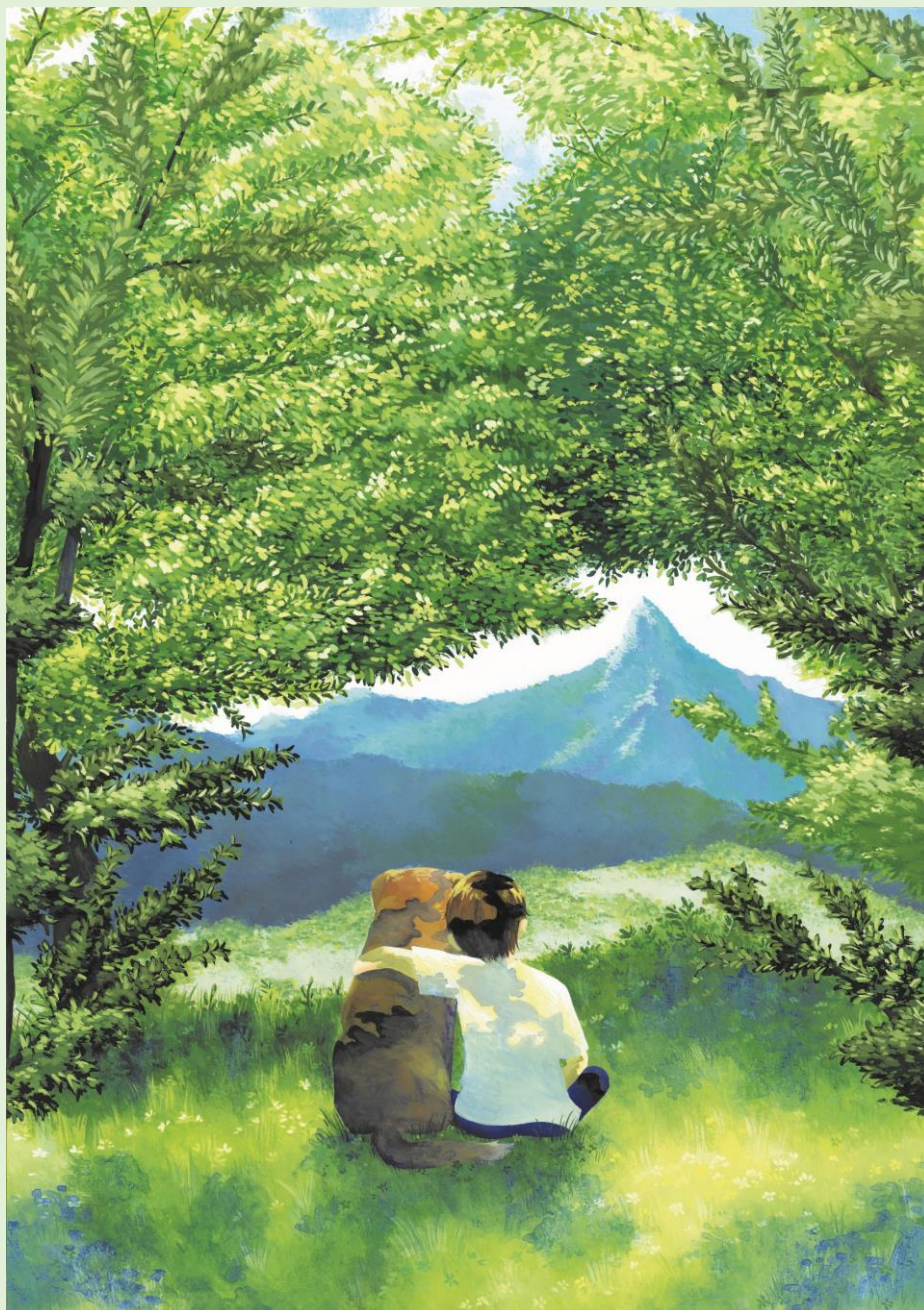


第
76
回

育てるけん 伊予の国から 緑の宝

全国植樹祭 えひめ
2026

基本計画＜概要版＞



第76回全国植樹祭大会ポスター原画



愛媛県

●目次

第1章	開催概要	2
第2章	式典行事計画	3
第3章	植樹行事計画	4
第4章	会場整備計画	5
第5章	運営計画	6
第6章	宿泊・輸送計画	8
第7章	荒天時式典計画	8
第8章	記念事業・関連事業計画	9
第9章	広報・協賛計画	10

本県における全国植樹祭の開催状況

昭和41年(1966年)4月17日、昭和天皇・香淳皇后両陛下の御臨席を賜り、温泉郡久谷村(現 松山市久谷町)の久谷ふれあい林において、「**精英樹**※による拡大造林」を大会テーマに第17回全国植樹祭(当時の名称:第17回植樹行事及び国土緑化大会)が開催されました。

この大会では、両陛下はスギをお手植えになるとともに、県内外から約1万3千人の参加者により約10ヘクタールの広大な原野に約3万本のスギ・ヒノキが植樹されました。

また、お手播き行事は、旧県立果樹試験場(松山市東野)を会場に、天皇陛下がスギとクロマツを、皇后陛下がヒノキとアカマツをお手播きになられました。

※精英樹:森林の中で、成長や材質などが特に優れている樹



天皇后両陛下によるお手植え



前回大会当時



現在

式典会場(松山市久谷町 久谷ふれあい林)の移り変わりの様子

項目	内容	
開催理念	<p>① 国民の森林・林業に対する理解を深め、森林の整備や森林資源の循環利用を一層推進していく契機とし、持続可能な社会の実現につなげていきます。</p> <p>② 霊峰石鎚山を頂点とする四国山地の豊かな森林を、健全な姿で次の世代にしっかりと引き継げるよう、県民参加による森づくりを推進します。</p> <p>③ 森林が育む愛媛の自然や文化、産業を県内外に発信し、全国の方々との「絆」を深める「愛顔(えがお)」あふれる大会とします。</p>	
大会テーマ	育てるけん 伊予の国から 緑の宝	
シンボルマーク・大会ポスター原画	 <p>シンボルマーク</p>	 <p>大会ポスター原画</p>
開催時期	令和8年(2026年)春季	
開催規模	約5,000人 (県外招待者1,140人、県内招待者2,360人、実施本部員・出演者等1,500人)	
開催会場	 <p>サテライト会場(松山会場)「大街道商店街」</p> <p>サテライト会場(今治会場)「イオンモール今治新都市」</p> <p>植樹会場「久谷ふれあい林」</p> <p>式典会場・植樹会場「愛媛県総合運動公園」</p> <p>サテライト会場(鬼北会場)「鬼北総合公園」</p> <p>サテライト会場(松野会場)「松野町役場」</p> <p>サテライト会場「えひめ森林公園」</p>	

参加者が開催理念を共有するとともに、心に残る内容の大会とする。

時間	区分	項目	進行内容
60分程度	プロローグ	プロローグアトラクション	^{もり} 愛媛の森林との出会い 「愛が芽生える ～山笑い、私も笑う～」
		記念式典の御案内	
60分程度	記念式典	天皇皇后両陛下 御着席	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌独唱	
		主催者あいさつ	大会会長(衆議院議長)、愛媛県知事
		天皇陛下のおことば	
		表彰	緑化功労者などへ表彰
		苗木の贈呈	緑の少年団から、農林水産大臣と環境大臣に苗木を贈呈
		天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き	
		代表者記念植樹	県内外特別招待者による植樹
		大会テーマの表現	^{もり} 森林への想いを行動へ 「愛を伝える ^{あした} ～明日の森林へ贈る ^{らぶ} 愛レター～」
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
閉会のことば	県議会議長		
天皇皇后両陛下 御退席			
30分程度	エピローグ	エピローグアトラクション	^{もり} 森林を未来へつなげる 「愛を誓う ^{えがお} ～みんなで、愛顔で～」

将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や立地条件に適した県民に親しみのある樹種を植樹する。

■ お手植え計画

・ 天皇陛下お手植え樹種(3種)

スギ(無花粉)	クスノキ	クヌギ
		
愛媛県の林業における主要樹種	樹齢2000年以上の長寿木が存在	特用林産物の生産を支える樹種

・ 皇后陛下お手植え樹種(3種)

ヒノキ	タチバナ	トキワバイカツツジ
		
愛媛県の林業における主要樹種	愛媛県内に自生する野生の柑橘	愛媛県のみ自生する希少樹種

■ お手播き計画

・ 天皇陛下お手播き樹種(2種)

クロマツ	ツブラジイ
	
愛媛県の木「まつ」の一種	松山城城山の主要樹種

・ 皇后陛下お手播き樹種(2種)

ヤブツバキ	イロハモミジ
	
松山市の花	四国山地の秋を彩る樹種

■ 代表者記念植樹計画

・ 特別招待者の代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に、特別招待者席前で植樹を実施。

■ 各都道府県代表者等記念植樹計画

- ・ 各都道府県代表者等は、式典会場内で植樹を実施。
- ・ 植樹樹種は、招待者記念植樹樹種のうち、会場の特性に適した樹種。

■ 県内招待者記念植樹計画

- ・ 県内招待者は、式典会場内又は久谷ふれあい林で植樹を実施。
- ・ 植樹樹種は、招待者記念植樹樹種のうち、会場の特性に適した樹種。

【招待者記念植樹樹種(21種)】

アカマツ、アベマキ、アラカシ、イタヤカエデ、イロハモミジ、ウバメガシ、ウラジロガシ、エゴノキ、エノキ、クスノキ、クヌギ、クロマツ、ケヤキ、コナラ、スギ、スタジイ、ツブラジイ、トチノキ、ヒノキ、ヤブツバキ、ヤマモモ

■ 第76回全国植樹祭メモリアル記念植樹計画

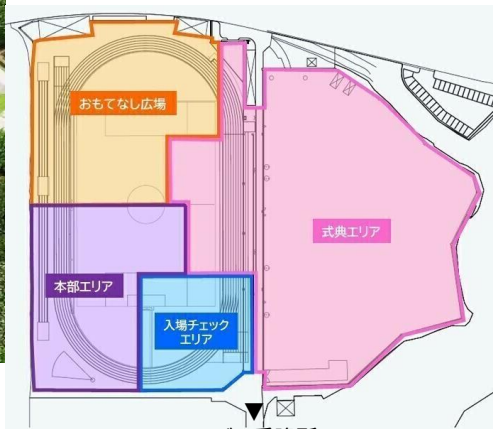
- ・ 大会後の令和8年秋頃に、久谷ふれあい林において、県民参加による植樹を実施。
- ・ 天皇皇后両陛下のお手植え木や代表者記念植樹木を定植。
- ・ 植樹樹種は、会場の特性に適した樹種。

■ 施設配置計画

会場は、式典エリア、本部エリア、おもてなし広場、入場チェックエリア等にゾーン分け。



式典会場イメージ



至バス乗降所

■ 主要施設計画

項目	内容
<p>のだてしよ お野立所</p>	<p>お野立所は、大会の開催理念を表現し、「愛媛らしさ」が感じられるデザイン。</p>  <p>お野立所のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民に広く愛される石鎚山の威風堂々とした姿を取り入れた象徴的なデザイン。 ・森林資源の循環(「植える」「育てる」「使う」)を三角形で表現。 ・県産スギ、ヒノキのCLTを使用して、本県の森林資源の豊かさを表現。
<p>会場内工作物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・御机やベンチ、プランターカバー等の木製品には、原則として県産木材を使用。 ・前回大会(第17回)で植樹された木を利用して、森林資源の循環を具現化するほか、安全性・経済性に配慮し、周囲の景観と調和を図る。

■ 案内・誘導計画

- ・招待者が安全かつ円滑に移動できるよう、各所に案内サインを設置。
- ・ユニバーサルデザインに留意。また、ピクトサイン(絵文字)等を使用。
- ・案内サインには、県産木材のほか、環境に配慮した資材の使用に努める。

■ 飾花計画

- ・県内産の花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置。

全国からの招待者をおもてなしの心でお迎えし、開催の意義や理念を広く発信する場とする。

■ 招待者行動計画

時間	全体進行	① 中央特別招待者 30人		② 特別招待者 県外 220人 県内 200人		③ 一般招待者 県外 900人 県内 2,150人	
				指定宿泊施設	指定宿泊施設	指定集合地	指定集合地
							記念植樹
				到着			
				入場チェック			
	おもてなし広場	指定宿泊施設				各都道府県代表者等 記念植樹	
		到着		昼食・おもてなし広場自由見学等			
13:00	完全着席	招待者完全着席					
	プロローグ	プロローグ					
14:00	式典	式典					
		代表者記念植樹					
15:00	エピローグ	会場出発	エピローグ				
15:30	おもてなし広場	駅・空港等	順次会場出発				
			駅・空港等	指定解散地	駅・空港等	指定解散地	

※ 式典行事の開始時間や招待者の行動計画は変更となる場合があります。

■ 受付計画

項目	内容
前日受付	<ul style="list-style-type: none"> 指定宿泊施設にて招待者専用の受付を設置。 受付業務は、原則、実施本部員が実施。
当日受付	<ul style="list-style-type: none"> 指定宿泊施設や指定集合地で、移動用バスに乗車する前に受付を実施。 式典会場入口付近にIDカード再発行所を兼ねた大会用品などのストックヤードを設置。 円滑な受付や記念品等の配布が行えるよう、関係者と連携を図る。
招待者に配布する記念品等	<ul style="list-style-type: none"> 大会の開催理念や大会テーマ、本県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に発信するため、記念品などを配布。 愛媛らしい県産品の活用を図るとともに、環境に配慮したものとし、招待者の持ち帰りやすさにも配慮。 式典の円滑な運営のため、IDカードや帽子等を配布。

■ 作品御覧計画

項目	内容
主催	公益社団法人国土緑化推進機構、愛媛県
出席者	・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者 ・大会ポスター原画作者

■ レセプション計画

天皇皇后両陛下の御来県を歓迎するとともに、招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とする。

項目	内容
主催	愛媛県
開催日	大会前日
招待予定者	<ul style="list-style-type: none"> ・中央特別招待者 国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、次期開催県知事、 愛媛県知事、愛媛県議会議長、開催地市長 等 ・県外特別招待者 緑化功労者、代表表彰者、県選出国會議員 等 ・県内特別招待者 緑化功労者、県議会議員、市町長、県実行委員会委員 等

■ 会場おもてなし計画

項目	内容
おもてなし広場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・総合案内所や湯茶接待所、救護所を配置。 ・各種展示コーナーや観光案内、地場産品等を取り揃えた物産販売ブースなどを関係団体の協力により運営。 ・出展者等との協力により、ごみの減量化や環境に配慮した運営に努める。

■ 医療・衛生計画

項目	内容
救護所の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・式典会場に設置。応急処置セットや休憩用ベッド等を配備。 ・緊急時の搬送・受入体制を整備。
熱中症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・場内放送でこまめな水分補給を呼びかけ、熱中症に対する注意喚起を実施。 ・救護所には、経口補水液を配備。
衛生対策	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所等の協力を得て、衛生対策体制を整備。 ・弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設などへの指導を徹底。 ・廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努める。
感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・感染リスクの低減を図るとともに、体調不良者発生時に的確な対応を実施。

■ 消防・防災・警備計画

項目	内容
消防・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・異常の早期発見、通報に努める。 ・会場内は、喫煙所を除いてすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置。
避難計画	<ul style="list-style-type: none"> ・避難計画を策定の上、招待者全員が安全に避難できる体制を整備。
警備	<ul style="list-style-type: none"> ・警察等の関係機関と協力して警備を実施。 ・実施本部員等を配置して警備や招待者の誘導を実施。 ・入場者のIDカード確認や金属探知機による持ち物検査を実施。 ・式典会場、植樹会場、駐車場等では、夜間も含め、監視・巡回警備を実施。

第6章 宿泊・輸送計画

式典当日は、原則、県内宿泊施設や県内各地に指定する集合地から県実行委員会が手配する計画輸送バス等により式典会場などに移動することとする。

項目	内容
宿泊計画	<ul style="list-style-type: none"> ・式典会場や植樹会場へのアクセス、計画輸送バスの乗降場所の確保などを総合的に勘案し、適切な宿泊地域や宿泊施設を選定。 ・フロントやロビー等に専用デスクを設置し、招待者に大会用品(関連資料、IDカード、帽子、記念品等)などを配布。
輸送計画	<ul style="list-style-type: none"> ・招待者は原則バス移動とし、輸送計画を作成。 ・関係機関と協議・検討の上、安全で円滑な輸送を確保した運行ルートを決定。 ・交通事故など不測の事態に備え、代替ルートや迂回ルートを設定。

第7章 荒天時式典計画

式典会場での式典が困難であると判断した場合は、荒天時会場にて、記念式典のみを行う。

項目	内容
荒天時会場	<p>愛媛県武道館（松山市市坪西町551）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
開催規模	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外から参加する招待者、スタッフ等を合わせて約1,500人規模で開催。
荒天時運営計画	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な運営を実施。 ・式典の構成を「記念式典」のみとし、代表者植樹等を除いた構成。

大会の開催理念を広めるとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民に広く啓発するため、記念・関連事業を実施する。

■ 記念事業


項目	内容
第76回全国植樹祭1年前記念 令和7年度愛媛県植樹祭	開催1年前の時期に、イベントを開催。 ＜開催日＞ 令和7年6月22日(日) ＜場 所＞ 国立大洲青少年交流の家
カウントダウンイベント	開催200日前などの節目の日(令和7年度中)にイベントを開催。
苗木のスクールステイ	大会やイベントで植樹する苗木を、小中学校・高等学校の児童、生徒等の協力により育成。
「木製地球儀」巡回展示・巡回植樹	大会のシンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示するとともに、記念植樹を実施。
記録誌の発行、記録映像の作成	式典行事や植樹行事、各種記念事業などの取組を、記録誌や記録映像等にまとめ、関係機関等に配布。

■ 関連事業

項目	内容
第2回こどもの森づくりフォーラムinえひめ	大会の開催を契機に、幼児期からみどりに親しむ取組の普及、促進等を図るため、保育・幼児教育関係者等を対象にフォーラム等を開催。 【フォーラム】 ＜時 期＞ 令和6年12月1日(日) ＜場 所＞ 松山市民会館 中ホール ＜内 容＞ 基調講演、事例発表、パネルディスカッション 【サイドイベント】 ＜時 期＞ 令和6年11月30日(土) ＜場 所＞ えひめ森林公園、えひめこどもの城 ＜内 容＞ 森林体験講座、木育体験講座 等
第54回全国林業後継者大会	全国の林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性を再認識し、林業の魅力を語り、その技術と恵み豊かな森林を未来に引き継ぐことを全国に発信。 ＜時 期＞ 令和8年(2026年)春季(大会前日) ＜場 所＞ 未定 ＜内 容＞ 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスカッション等

広報宣伝や協賛募集の活動を通じて、大会の開催意義、開催理念及び内容、大会に向けた様々な取組等について広くPRするなど、開催への機運を高めていく。

■ 広報計画

項目	内容
明日の森林へ贈る愛レタープロジェクトの実施	<p>県民から森林への想いなどを綴ったメッセージを募り、大会テーマソングや式典演出等あらゆる場面に活用する県民参加型プロジェクトを実施。</p> 
おうちde植樹祭えひめの実施	<p>県内各地のイベント等に、PRブースを出展し、来場された方に苗木を配布。</p> 
みんなde植樹祭えひめの実施	<p>県内の企業や団体等が自主運営する森林・林業等に関連するイベントを応援事業として認定し、呼称使用等により大会の周知と機運の醸成を図る。</p>
インターネット・SNSの活用	<p>公式ホームページや公式SNSにて様々な取組や関連イベント等の情報を発信。</p>
公共広報等の活用	<p>県及び各市町の広報や広報番組等を活用し、情報提供とPR活動を実施。</p>
マスメディアの活用	<p>大会に関する情報が広く発信されるよう、テレビや新聞等に情報提供。</p>
第76回全国植樹祭情報誌等の発行	<p>「第76回全国植樹祭だより」を発行し、大会に向けた取組状況や県民参加の森づくり活動等に関する情報を発信。</p>
PRグッズの作成・配布	<p>PRグッズを作成、イベントなどで配布。大会の周知と機運醸成を図る。</p>

■ 協賛計画

項目	内容
資金協賛	大会や各種記念行事等の開催に関わる資金協力
物品協賛	大会や各種記念行事等の開催に関わる物品協力
その他の協賛	役務提供や広告活動等による広報などの協力



第76回全国植樹祭 基本計画 <概要版>

令和7年1月

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会事務局
(愛媛県農林水産部森林整備課全国植樹祭推進室内)

〒790-0002 愛媛県松山市二番町三丁目6-5
電話番号:089-961-1134 ファクス番号:089-961-1145
ホームページ:<https://www.syokujusai-ehime2026.jp/>
又は「第76回全国植樹祭」で検索してください

